

<対策のポイント>

森林病虫害等による被害対策として必要な取組を実施します。ドローンを活用した効果的な被害防止対策の実施・検証を行うとともに、引き続き、東北地方等において、農林水産大臣の命令による防除対策等を推進します。

<政策目標>

保全すべき松林の被害率を全国的に1%未満の「微害」に抑制【令和2年度まで】

<事業の内容>

<事業イメージ>

1. 森林害虫駆除事業委託 193,737（198,754）千円

○ 東北地方における松くい虫被害の拡大の未然防止、佐渡におけるトキの営巣木等の保全を図るため、農林水産大臣の駆除命令による伐倒駆除等や、薬剤防除、自然環境等影響調査等を実施します。

2. 森林病虫害等防除損失補償金 1,970（1,970）千円

○ 農林水産大臣の命令を受けて伐倒を行うことにより通常生ずべき損失額に相当する金額及び薬剤による防除又はく皮、焼却の措置を行うのに通常要すべき費用に相当する金額等を補償します。

3. 森林病虫害等防除事業費補助金 501,398（514,681）千円

- ① 被害拡大地域対策事業（松くい虫防除）
従来被害がなかった地域で新たな被害が発生している高緯度・高標高地域等における松くい虫防除対策を実施します。
- ② 環境に配慮した松林保全対策事業
薬剤の樹幹注入による予防措置等、環境に配慮した防除対策を実施します。
- ③ 政令指定病虫害等防除事業
せん孔虫類、食葉性害虫、のねずみ等による被害のまん延を防止するための防除対策並びにナラ枯れ被害対策の防除措置を実施します。

4. 森林病虫害等被害対策強化・促進事業 18,000（-）千円

- ① ドローンによる被害木の探査
被害先端地の被害木の見逃しを防止し駆除を徹底するため、複数の波長帯を観測できるカメラを備えたドローンを用いて松くい虫被害木の把握・判定を行います。
- ② ドローンによるきめ細かな薬剤散布の実証
薬剤散布の効果を高めるため、きめ細かな散布技術の確立に向けドローンを用いた散布方法の実証、地上散布とのコストの比較検証等を行います。

予防



薬剤の地上散布



薬剤のヘリ空中散布



樹幹への薬剤注入

・ 薬剤散布（地上・空中散布）はマツノザイセンチュウを媒介するマツノマダラカミキリ成虫を直接殺虫するとともに、薬剤が染込んだマツの枝をかじった成虫も殺虫します。
・ マツ樹体内に侵入するマツノザイセンチュウが増殖できないように樹幹に薬剤を注入します。

駆除



くん蒸処理



破碎処理



焼却処理

・ 被害木を伐倒し、くん蒸・破碎・焼却等によって、被害木に生息しているマツノマダラカミキリ幼虫が成虫になって脱出する前に駆除します。

効果的な被害防止対策に活用

<事業の流れ>

委託・1/2等

都道府県（1、3の事業）

国

定額

都道府県 1/2等

市町村等（2、3の事業）

民間団体等（4の事業）

「ドローン」を活用し、①上空からの被害木探査、②保全松林等における薬剤散布の効果を高めるための散布方法の検証を行います。



空中探査(イメージ)

薬剤散布(イメージ)

【お問い合わせ先】 林野庁研究指導課（03-3502-1063）